

# 日本畜産興業株式会社



施設の外観：屋上には多数の太陽光発電パネルを設置

所 在：越谷市

構成員：35名

当社は昭和24年にと畜場として埼玉県の特認を得て設立し、埼玉県東部地域に位置する消費地立地型の食肉センターです。

「環境に優しい工場への転換」を目指し、CO2削減を目的に都市ガスを導入したほか、徹底した省エネ活動を展開し、新エネルギーの導入にも努めています。

クリーンエナジーセンターから

クリーンクオリティミーメントを！



## 受賞の主な取組

- ・創エネ推進のため、これまでに太陽光発電設備を230kW、天然ガスコージェネレーションシステムを105kW導入し、平成24年度末までに、それぞれ300kW、210kWとする予定。
- ・CO2削減・省エネ推進のため、ボイラー燃料のA重油から天然ガスへの燃料転換、冷凍機からの排熱回収などを実施。
- ・蓄エネのため、大型エコキュート導入。

## 取組をはじめたきっかけ

平成2年から始めた施設の新設、増築により、豚・牛のと畜から、カットおよび物流機能を有する全国でも屈指の衛生レベルを確保する食肉センターとして運営しています。

環境保全対策は平成18年から、地球温暖化の抑制、持続可能な低炭素社会の実現に向け、日々邁進してまいりました。その結果、平成18年を基準に23年度末時点で295トンのCO<sub>2</sub>を削減することに成功しました。

## これからの展望

当社は、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故を教訓に「脱原発」を掲げております。

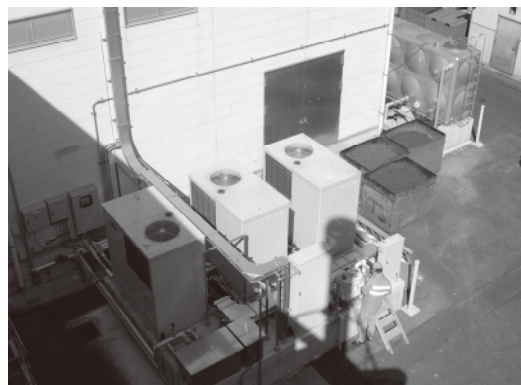
今後も、より一層の省エネルギーの活用等によるエネルギーのベストミックスを行うことでエネルギー自給率50%を目標とし推進してまいります。

当業界の模範となるべく、環境に配慮した施設の整備と、より安心安全な食肉供給システムを構築し、“クリーンエネルギーセンターからクリーンクオリティミートを！”を当社の社会的責任（CSR）と掲げ、消費者に望まれる国内トップレベルの食肉供給起点となるべく、その役割を果たしていく所存であります。



手前：太陽光発電パネル、

左奥：太陽熱コレクター、左奥手前：自然冷媒冷凍機



コージェネレーション発電機と貯湯槽

## 受賞して



当社がかねてより実施してまいりました、地球環境保全に対する取り組みを評価していただき感謝する次第であります。今後とも今回の受賞を糧に飽くなき省エネルギーを追及してまいります。